



2008年度を振り返る

2008年度社会福祉学部の概括

学部長 前山 智

1. 教員体制

2008年度の社会福祉学部教員数は前年度と同数の12名であるが、西内講師の准教授昇任(4月1日付)により、教員構成としては、教授5名、准教授4名、講師2名、助教1名となる。年度末には、川崎教授、吉野准教授、玉里准教授の3名が退職(3月31日付)された。

2. 学部改革

10月の県議会において、池キャンパス整備の予算が認められ、2010年度に入学定員を70名に増やすとともに介護福祉士養成課程を設置するという社会福祉学部の拡充計画も本決まりとなる。入学定員増と介護福祉士養成課程設置に必要な教員増も一定確保することができたので、今後計画的に採用することになる。介護福祉士養成課程の設置申請に向けて、カリキュラムの検討や実習先の確保を進め、先ず介護福祉士学校の設置計画書を3月末に四国厚生局に提出した。

2. 教育

社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正にともない、社会福祉士養成新カリキュラムを2009年度入学生から適用するために、専門教育の新しいカリキュラムを策定するとともに、新たに課せられた実習演習科目の確認申請も9月末に済ませ、新カリキュラムへの移行準備を行った。現場実習に関しては、7月から10月にかけて3回生が社会福祉現場実習を、4回生が精神保健福祉援助実習を行い、1月に現場実習報告会、3月に実習連絡協議会を開催した。卒業論文に関しては、5月に卒論構想発表会、10月にポスター形式による卒論中間報告会を経て、38名が12月19日に提出し、2月に開催した卒論発表会において発表した。

3. 研究

研究成果としては、著書8編、論文13編、学会発表6件であり、昨年度よりは増加したが、科研費応募件数は1件で減少した。学長裁量プロジェクトとして、「国際ソーシャルワーク教育の開発について」と「高知県における保健・医療・福祉専門職のための学際的教育研修モデル開発について」の調査研究を進めた。

4. 自己点検評価とファカルティ・デベロップメント(FD)

自己点検評価資料として「社会福祉学部報」第9号(2007年度版)を作成したが、昨年度より印刷は取りやめており、学部ホームページに掲載して公表した。FD活動の一環として、学外の「2008年度全国社会福祉教育セミナー」や「2008年度社会福祉士養成校協会中四国ブロック教員研修会」に参加するとともに、FD委員会が「社会福祉学部FD研修交流会」を開催した。

5. 入学生と2009年度入学試験

4月に第11期生となる33名(県内出身16名)、3年次編入生1名が入学した。2008年度は県内で開催された進学相談会を中心に参加するとともに「オープンキャンパスに参加できなかった方のための社会福祉学部説明会」を昨年度に引き続き開催して志願者確保に

努めた。県内対象の一般推薦入試では志願・受験者が少し増えて倍率が2.2倍であったが、県外も対象となる専門推薦入試の志願者はいなかった。3年次編入学試験の志願者は少し増加して志願倍率は1.7倍であった。前期入試では志願者が増加して3年振りに100名を超え、志願倍率は6.8倍となるも、後期入試は少し減少して38倍となり、前・後期入試の志願者合計では昨年度よりも少し増加した。これらの志願倍率は、15の県立大学社会福祉学系学科の中では前期が第2位、後期が第1位であった。前・後期入試とも、県内からの志願者が約半分近くに減少したことが気掛かりな点である。

6. 卒業生と就職

2009年3月に第8期生38名が卒業した。3月末までに、就職を希望した卒業生34名の内33名の就職先が決まった。第8期の就職先では、高知県職員への採用4名を始めとして公務員(准公務員や臨時も含め)の割合が30%とこれまでで一番高く、分野としては福祉分野も約90%と高くなった。また県内への就職は55%であった。就職や就活に対する意識を高めるために、卒業生や4回生内定者を講師とした学部就職セミナーを5月と11月に2回開催した。

7. 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験

第8期生が1月初旬に恒例となっている国試直前強化合宿に行き、1月23-24日に実施された第21回社会福祉士国家試験と第11回精神保健福祉士国家試験を受験した。前者の合格率は78.4%でこれまでで最高となるが、順位としては199校中14位となり、ベストテンからは外れた。後者の合格率は93.8%であり、3年連続で90%台を維持し、110校中12位であった。

8. 地域貢献活動

「2008年度社会福祉学部リカレント教育講座」として5講座と特別講演1回を11月から2月に掛けて開催したところ、延べで約300名程度の福祉関係者等の参加があった。また、2008年度はオープンキャンパスに引き続き8月2-3日に「第8回高校生のための公開講座」を開催し、県外からの1名を含め35名の高校生が受講した。

9. 広報活動

社会福祉学部紹介パンフレット「こんにちは社会福祉学部です。(2008年度版)」、「2008年度 社会福祉実習報告書」を発行した。学部ホームページによる迅速な学部行事や入試情報等の発信に努めた。2010年度からの社会福祉学部拡充について広報するために、「社会福祉学部は変わります」のチラシを作成して、2月に中四国の高校に配布するとともに、学部ホームページにおいても拡充に関する情報発信を始めた。

10. 学生の活動

学内では、7月に2~4回生が企画した「新入生歓迎学年間交流会」、2月に3回生が企画した「4回生を送る会」が卒論発表会の終了後に開催された。

学外では、5月に開催された「第10回高知県障害者スポーツ大会」に学生がボランティアとして大会運営に協力し、9~10月に行われた若草養護学校小学部・中学部修学旅行にも介助ボランティアとして学生が同行した。

2008年度社会福祉学部の主要行事

| | | | |
|-----|--------|-------|---|
| 4月 | 1日 | (火) | 辞令交付(西内准教授) |
| | 7日 | (月) | 入学式(11期生33+編入1名入学) |
| | 8~9日 | (火~水) | 学生オリエンテーション |
| | 10日 | (木) | 前期授業開始(~7月17日) |
| | 21日 | (月) | 創立記念日/新入生バスハイク(龍河洞、わんぱくこうち) |
| | 28日 | (月) | 第1回教授会 |
| 5月 | 14日 | (水) | 卒論構想発表会No.1/国試ガイダンス |
| | 21日 | (水) | 卒論構想発表会No.2/第1回社会福祉学部就職セミナー |
| | 25日 | (日) | 「第10回高知県障害者スポーツ大会」(学生ボランティア参加) |
| | 26日 | (月) | 第2回教授会 |
| 6月 | 9日 | (月) | 社会福祉学部FD交流研修会 |
| | 23日 | (月) | 第3回教授会 |
| 7月 | 4日 | (金) | 社会福祉・精神保健福祉現場実習(~10月31日) |
| | 18日 | (金) | 前期末試験・補講期間(~7月31日) |
| | 19日 | (土) | 学年間交流会 |
| | 28日 | (月) | 第4回教授会 |
| 8月 | 1日 | (金) | オープンキャンパス |
| | 2~3日 | (土~日) | 第9回高校生のための公開講座 |
| | 25日 | (月) | 第5回教授会 |
| 9月 | 7日 | (日) | オープンキャンパスに参加できなかった方のための社会福祉学部説明会 |
| | 29日 | (月) | 第6回教授会 |
| 10月 | 1日 | (水) | 後期授業開始(~2月6日) |
| | 22日 | (水) | 卒論中間発表会 |
| | 27日 | (月) | 第7回教授会 |
| 11月 | 8日 | (土) | 2008年度リカレント教育講座開講(~2月28日) |
| | 10日 | (月) | 第8回教授会 |
| | 15日 | (土) | 推薦入学試験・編入学試験(21・5名受験) |
| | 25日 | (火) | 池キャンパス整備工事に関する説明会/第2回社会福祉学部就職セミナー |
| 12月 | 19日 | (金) | 第9回教授会 / 卒論提出締切 / 国家試験受験激励会 |
| 1月 | 7~9日 | (水~金) | 国家試験直前強化合宿(4回生企画、香北青少年の家) |
| | 24~25日 | (土~日) | 「第21回社会福祉士国家試験・第11回精神保健福祉士国家試験」(38・17名受験) |
| | 26日 | (月) | 第10回教授会 |
| | 29日 | (木) | 現場実習報告会 |
| 2月 | 9日 | (火) | 後期末試験・補講期間(~20日) |
| | 12日 | (木) | 卒論発表会 / 4回生を送る会(3回生企画) |
| | 23日 | (月) | 第11回教授会 |
| | 25~26日 | (水~木) | 前期日程入学試験(109名受験) |
| | 28日 | (土) | 2008年度リカレント教育講座特別講演「“人間と生活”を介護の視点でみつめる」 |
| 3月 | 10日 | (火) | 実習連絡協議会 |
| | 12日 | (木) | 後期日程入学試験(65名受験) |
| | 19日 | (木) | 卒業式(38名卒業) |
| | 23日 | (月) | 第12回教授会 |
| | 31日 | (火) | 社会福祉士・精神福祉士国家試験の合格発表(29・16名合格) |

2008年度を振り返る

平成20年度 社会福祉学部社会福祉学科 時間割

| H18年度 | | 1時限 | | | | 2時限 | | | | 3時限 | | | | 4時限 | | | | 5時限 | | | |
|-------|---|-------|----------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-----------------|------|-------|----------------|------|-------|----------------|-------|----------------|-----------|-----------|--|--|
| | | 科目コード | 科目名 | 教員 | 科目コード | 科目名 | 教員 | 科目コード | 科目名 | 教員 | 科目コード | 科目名 | 教員 | 科目コード | 科目名 | 教員 | 科目コード | 科目名 | 教員 | | |
| 前期 | 前 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社101他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社218他 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5702 | 地域社会学(玉里) | T5702 | 地域社会学(玉里) | T5702 | 地域社会学(玉里) | | |
| | 後 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社202他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社202他 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5702 | 地域社会学(玉里) | T5702 | 地域社会学(玉里) | T5702 | 地域社会学(玉里) | | |
| | 1 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社101他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社101他 | T5102 | 社会科学入門(玉里) | 観覧室 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5102 | 社会科学入門(玉里) | 観覧室 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | | |
| | 後 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社202他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社202他 | T5102 | 社会科学入門(玉里) | 観覧室 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | T5102 | 社会科学入門(玉里) | 観覧室 | T5702 | 地域社会学(玉里) | 101 | | |
| 中期 | 前 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社101他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社101他 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | 101 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | 101 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | G0019 | 教師論(徳富)<2-4> | 101 | | | |
| | 後 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社202他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社202他 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | 101 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | 101 | T5129 | 社会福祉史Ⅰ(吉野) | G0019 | 教師論(徳富)<2-4> | 101 | | | |
| | 1 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社101他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社101他 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | | | |
| | 後 | E4031 | 英語コミュニケーションⅠ | 社202他 | E4041 | 英語コミュニケーションⅡ | 社202他 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | T5219 | ケアマネジメント演習(菅上) | 102 | | | |
| 後期 | 前 | G0014 | 特別活動論(市社)<2-4> | 審220 | G0036 | 教育実習Ⅰ(宮上・北川・芝田) | 審220 | - | 教育実習Ⅰ(宮上・北川・芝田) | 審220 | G0004 | 同和教育(津連)<2-4> | 審218 | G0015 | 生徒指導論(市社)<2-4> | 審218 | | | | | |
| | 後 | G0014 | 特別活動論(市社)<2-4> | 審220 | G0036 | 教育実習Ⅰ(宮上・北川・芝田) | 審220 | - | 教育実習Ⅰ(宮上・北川・芝田) | 審220 | G0004 | 同和教育(津連)<2-4> | 審218 | G0015 | 生徒指導論(市社)<2-4> | 審218 | | | | | |
| | 1 | E5001 | 教養セミナー(松本) | 永 | E5001 | 教養セミナー(宇野) | 永 | E1201 | 日本国憲法(岩倉) | 大講 | E1102 | 心の科学(八木) | 大講 | E3004 | 健康スポーツ科学Ⅰ(清原) | 体育館 | | | | | |
| | 後 | E5001 | 教養セミナー(松本) | 永 | E5001 | 教養セミナー(宇野) | 永 | E1201 | 日本国憲法(岩倉) | 大講 | E1102 | 心の科学(八木) | 大講 | E3004 | 健康スポーツ科学Ⅰ(清原) | 体育館 | | | | | |

注 1) 内の入名は担当教員。中線を付した者は非常勤講師。破線の入名は前期、後期に開講する科目。

教科教育法は学科で対応